主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　16

神の建造のために神を享受する

聖書：啓3:11．イザヤ28:5．ローマ5:17，21．ヨハネ4:14後半．詩36:8-9

Ⅰ．恵みとは、わたしたちの享受のための、その霊としてのキリストにある神です。わたしたちは今日の勝利者になり、神の永遠のエコノミーの中に生き、神の建造のために神を享受しなければなりません――ヨハネ1:14，17．Ⅱコリント13:14．ガラテヤ2:20．参照、Ⅰコリント15:10：

Ａ．神の永遠のエコノミーとは、人が神を食べ飲みすることによって神を享受することです。それによって人は神の建造のために神の増し加わりによって成長することができます。神の建造とは、キリストの有機的なからだであって、神の表現のための神の家であり、また神の行政のための神の王国です――創1:26．2:7-14，22．サムエル下7:13。

Ｂ．三一の神は、彼の種類にしたがって人を創造し、人を「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって」(創1:26前半)造りました。また人を霊のあるものに創造しました。それは人が神を享受するため、すなわち、神と接触し、神を受け入れ、神を礼拝し、神を生き、神のために神の目的を成就し、神と一になるためです――創2:7．ゼカリヤ12:1。

Ｃ．神は人をエデン、喜びの場所に置きました。これが示していることは、神は人の喜び、享受、楽しみ、娯楽、満足、すべてとなることによって、人を喜ばせ、人を幸いにすることを願っているということです。もしあなたが喜びに満ちておらず、神の臨在の中で幸いでないのであれば、それはあなたが神に対して間違っていることを意味します――ローマ14:17．詩95:1．100:1．参照、コロサイ2:2。

Ｄ．わたしたちは再生された後、エデンの園の縮図になりました。すなわち、わたしたちの魂の思いはわたしたちのパースンを代表しており、わたしたちの肉の中の罪はサタンを代表しており、わたしたちの霊の中のその霊は神を代表しています。わたしたちは、わたしたちの霊の中にいるか、わたしたちの肉の中にいるかのどちらかです。第三の場所にいることはできません。「肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です」――ローマ8:6．7:22．8:2，16。

Ｅ．神は人をエデンの園に置き、神の表現のためにそれを耕させ、また神の権威によってそれを見張らせました――創2:15．1:26：

１．地は人の心を予表しており、その中に命の木の種としてのキリストがまかれました。地を耕すとは、わたしたちのかたくなな心を解きほぐし、砕き、わたしたちの心を天に開かせることを表徴します。それは、雨としてのその霊がわたしたちに水を注ぎ、わたしたちの中で神を成長させるためです――ルカ8:15．イザヤ55:8-11。

２．地を耕すことは、わたしたち自身を命の木に対して開くことです。地を見張るこ

とは、わたしたち自身を知識の木に対して閉ざすことです――Ⅱコリント11:2-3. ローマ8:6. 参照、レビ5:2。

Ⅱ．神の建造のための神の道、ヒラデルヒヤの道は、わたしたちを神の当初の意図へと連れ戻します。それは、わたしたちが勝利を得て、神の永遠のエコノミーの中に生き、キリストにある神を、神の建造のために、わたしたちの賞、わたしたちの褒賞、わたしたちの冠として享受するためです――レビ3:11. ピリピ3:8, 14：

Ａ．勝利者たちは、彼らが逃れるための避け所となる青銅の祭壇の実際としての、十字架につけられたキリストを享受する秘訣を学びました。また、彼らが安息するための家となる金の香壇の実際としての、昇天の中の復活したキリストを享受する秘訣も学びました――詩84:3-7, 10-12. 詩43:4前半. 参照、ピリピ4:11-13。

Ｂ．計り知れないほど豊富なキリストを予表するささげ物は、神の享受でもあり、奉仕する祭司たちの享受でもありました。わたしたちの祭司の奉仕に対する唯一の褒賞は、わたしたちにとってすべてであるキリストです――民18:9, 31. マルコ9:7-8. Ⅰコリント1:9。

Ｃ．流れ出る三一の神としてのキリストご自身が、わたしたちの享受、わたしたちの賞、わたしたちの極めて偉大な褒賞、わたしたちの冠です。わたしたちは、満ちあふれる恵みとしての彼を絶えず受けて、恵みがわたしたちの中で支配するようにしなければなりません。それはわたしたちが命の中で支配し、永遠の命の総合計、すなわち新エルサレムになるためです――創15:1. ローマ5:17, 21. ヨハネ4:14後半. 詩36:8-9. 啓22:1-2前半：

１．恵みがわたしたちの中で支配するとき、わたしたちは命の恵みの統治の下にあります。そしてわたしたちはサタン、罪、死を支配して、からだの生活を実行し、わたしたちの足の下にサタンを踏み砕きます――ローマ5:21. 8:2. 12:1-3. 16:20。

２．わたしたちは恵みの御座に絶えず進み出て、あわれみを受け、また時機を得た助けとなる恵みを得なければなりません。わたしたちは、神聖な源である支配する小羊・神へとやって来て、わたしたちの存在の深みから開いて、恵みとしての彼で満たされなければなりません――ヘブル4:16. 啓22:1. ヨハネ1:16。

３．わたしたちはからだの中で、澄み渡った空、すなわち、主との澄み渡った交わりを持てば持つほど、さらにわたしたちは彼の御座の下にあり、天的電線とされて、神の支配する臨在の天的御座を地へと伝達します――エゼキエル1:22, 26. 啓22:1-3. 列王上10:18. ローマ5:17. マタイ24:14。

Ｄ．わたしたちが享受するすばらしいキリストは、復活の力であり、神の輝きであり、わたしたちの勝利の力となって、命としてのキリストを表現させます。このキリストは、わたしたちの冠、わたしたちの賞、わたしたちの褒賞です――創15:1. 詩歌169の折り返し：

１．「わたしはすぐに来る。だれもあなたの冠を奪うことがないように、自分の持っているものをしっかりと保っていなさい」――啓3:11. 参照、詩103:1-4。

２．「その日、万軍のエホバは、ご自身の民のレムナントにとって、美の冠、栄光の王冠となり」――イザヤ28:5. 参照、出28:2。

3.「死に至るまで忠信であれ。そうすれば、わたしはあなたに命の冠を与える」――啓2:10後半．参照、ヤコブ1:12後半．Ⅰコリント8:1-3。

4.「今からは、義の冠がわたしのために用意されているのです．かの日には、義なる審判者である主が、それをわたしに授けてくださいます．わたしだけではなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます」――Ⅱテモテ4:8。

5.「彼の頭に巻き頭きんをかぶせ、その巻き頭きんの上に聖なる冠を置かなければならない」(出29:6．参照、レビ8:9)。「あなたはまた純金の牌を作り、印章の彫刻*のように*、その上に『**エホバ**に対して聖』と彫り」(出28:36)。

6.「あなたがたの間の神の群れを牧しなさい……そうすれば、牧者の長が現れる時、あなたがたは、しぼむことのない栄光の冠を受けます」――Ⅰペテロ5:2，4。

7.「あなたがたは知らないのですか？　競技場で走る者はみな走りますが、賞を受けるのはただ一人です．あなたがたは賞を得るために、このように走りなさい。競争する者はみな、すべての事で節制します．彼らは朽ちる冠を受けるためにそうしますが、わたしたちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです」――Ⅰコリント9:24-25。

Ｅ．上記のすべてが啓示していることは、わたしたちがキリストをわたしたちの命の賞として享受するとき、彼はわたしたちの三部分から成る全存在の中へと分与されるということです。それは、義、聖、栄光という計り知れないほど豊富な彼の神性の属性が、わたしたちの人性の美徳となって、わたしたちを神の永遠の詩とならせ、神の光り輝く表現とならせるためです――創3:24．Ⅰコリント1:30．ローマ5:10．Ⅰヨハネ3:2．エペソ2:10．啓21:10-11。

©2006 Living Stream Ministry